開催要項

日　時　令和９年**１**月**28**日(木)・**29**日(金) ※28日(木)15時30分開会・29日(金)15時30分閉会予定

会　場

１日目（１月28日）

シェラトン都ホテル大阪

大阪市天王寺区上本町6-1-55　**TEL**:06-6773-1111
近鉄「大阪上本町」駅直結（ＪＲ「新大阪」駅より約30分）
大阪メトロ谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅より徒歩約５分

２日目（１月29日）

パドマ幼稚園

大阪市天王寺区下寺町1-1-30　**TEL**:06-6772-1721
大阪メトロ谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅より徒歩約９分
大阪メトロ千日前線・堺筋線「日本橋」駅より徒歩約８分

対　象

フォーラム　原則として園長・理事長、主任およびこれに準ずる教職員
全国公開保育　全ての職員

参加費

フォーラム

A－全日程	B－１日目（１月28日）のみ	C－２日目（１月29日）のみ	全国公開保育（１月29日）
33,000円（税込） １日目懇親会・２日目昼食付き	27,500円（税込） １日目懇親会付き	11,000円（税込） ２日目昼食付き	8,000円（税込） 昼食付き

※上記金額に宿泊費は含まれません。
宿泊に関してはオプション申込か、各自ご手配をお願いします。

宿泊費（１月28日宿泊・シェラトン都ホテル大阪）

① シングル	31,000 円
② ツイン（１名あたり）	16,500 円

※税込、朝食付き。いずれも禁煙ルームのみ。
※宿泊オプションご利用の方は、申込フォームにてその旨入力ください。**申込締切：12月24日(木)**
※12月25日(金)からは宿泊オプションプランのキャンセル料が発生いたします。ご注意ください。

※フォーラム参加の先生方と全国公開保育参加の先生方は、グループワークの内容が異なります。

日　程

１日目（１月28日）

会場：シェラトン都ホテル大阪

15時00分　受付開始
15時30分　開会式
15時45分　記念講演
16時45分　対談
17時15分　休憩
18時00分　ウェルカムスピーチ
18時15分　懇親会
20時00分　終宴

２日目（１月29日）

会場：パドマ幼稚園

8時30分　受付開始
8時50分　オリエンテーション
9時00分　公開保育
11時10分　うたの発表
11時30分　園長あいさつ
11時45分　昼食・休憩
12時45分　総合保育セッション
13時50分　グループワーク
14時55分　まとめのセッション
15時25分　閉会式
15時30分　終了・解散

１月29日にご参加の場合は、室内履と靴袋をご用意ください。

申し込み方法

STEP 1

本部事務局宛に申し込み

総幼研ホームページより、
お申し込みをお願いいたします。

※申込締切
１月15日(金)

STEP 2

本部事務局より申し込み内容確認のご連絡

申込書ご記入のメールアドレス宛に、本部事務局より申込内容の確認をお送りします。
（振込金額・振込先の情報につきましても、メールに記載いたします）
申込後３日以内に届かない場合は、本部事務局までお問い合わせください。
※12月26日～１月４日の冬季休業期間を除く

STEP 3

参加費のお振り込み

メール内容に不備がないかご確認の上、**１月22日(金)**までにお振り込みください。

※１月23日(土)以降のキャンセルは、返金できかねますのでご了承ください。
※宿泊オプションの申込締切、キャンセル料の発生時期は上欄に記載の通りです。

令和８年度－５
研修会のご案内

子どもも先生も楽しく。

「共感・共鳴・共体験」を支える園づくり。

１日目…感情労働から、園運営を読み解く。

２日目…子どもの育ちと先生の育ちを、共に考える。



第32回

総幼研フォーラム・全国公開保育

2027年1月28日㊍・29日㊎

会場　１日目　シェラトン都ホテル大阪
　　２日目　パドマ幼稚園

一般社団法人　総合幼児教育研究会

研修のねらい

子どもの心が動く保育と、先生を支える園づくり

「子どもも先生も楽しそう」。その背景には、どのようなかかわりがあるのでしょうか。夢中になって取り組む、うまくいかずに試す、仲間と気持ちが通い合う。子どもの育ちには、さまざまな感情の動きがあります。そして、子どもを支える先生自身も、喜びや戸惑いを抱えながら保育をしています。

総幼研が大切にしてきた「共感・共鳴・共体験」。子どもと先生、子ども同士が、共に活動し、喜びを分かち合う。その実践を、今回は「感情」の視点から見つめ直します。子どもの心が動く場面と保育者のかかわりを読み解くと共に、先生自身の思いや負担にも目を向け、保育と園づくりを考えます。



この研修で考える3つのポイント

1 先生の感情を理解し、働き続けられる職場を考える

1日目｜フォーラム

保育者は日々、子どもや保護者、同僚との間で感情を調整しながら働いています。その見えにくい負担やすれ違いの背景を、講演と実際の事例から読み解き、職員の思いを受け止めることと、園として判断することの両面を考えます。





2 「楽しそう」の中身を学び、自園の保育に生かす

2日目｜フォーラム・公開保育

夢中になる姿や試行錯誤にも、子どもの心の動きがあります。実際の保育を見て、それを引き出す表情やことばがけなどの意図を学ぶことで、保育者は自分のかかわりを見直し、その意味を園内で語り合う手がかりを得ます。

3 園長と職員が、同じ視点を園に持ち帰る

2日目｜フォーラム・公開保育

保育の気づきを、若手への伝え方や園内研修にどうつなぐか。3法令の改訂と0歳からの育ちのつながりを共に学んだうえで、職員は年齢別に子どもへのかかわりを、園長・管理職は若手の育成とフィードバックを話し合います。



1日目　保育者の感情労働から、支え合う職場を考える

記念講演・対談

「巻き込まれる職場、支え合う職場」

―保育者の感情労働から考える、園長・理事長のかかわり方―

講師

迫 共 先生（くらしき作陽大学子ども教育学部准教授）

「感情労働」とは、仕事の中で自分の感情を調整し、求められる表情や態度で人とかかわる働き方です。子どもや保護者、同僚と向き合う保育者の仕事にも、こうした働きが含まれています。本講演では、迫先生の研究と園長としての経験をもとに、職員の見えにくい負担や、すれ違いの背景にある職場の関係を考えます。後半の対談では、実際の「職場の困りごと」をもとに、園長・理事長としてどう判断し、どうかかわるかを探ります。

講師紹介



迫 共（さこ ともや） 先生

……博士（臨床福祉学）。認可保育園の園長、ひとり親家庭を支援する団体の代表を経験。幼児教育カリキュラム史、保育実践研究を専門とし、保育者の語りから同僚との関係で生じる感情労働を読み解く研究に取り組む。

2日目　見る・読み解く・話し合う

午前　パドマ幼稚園公開保育

日課・運動ローテーション・課題と共に、パドマ幼稚園で取り組む「じぶん主体のあそび」まで。観察シートを手がかりに見学し、気づきや問いを午後へつなげます。



午後

1- 総合保育セッション

午前の保育を振り返り、子どもの姿とかかわりの意図を読み解きます。3法令の改訂に向けた議論を、育ちのつながりから考えます。

登壇

- **須賀 みな子** 先生（平安女学院大学子ども教育学部准教授）
- **中島 美和子** 先生（パドマ幼稚園総主任）
- **岡田 尚子** 先生（パドマ幼稚園教務主任）

2- グループワーク

全国公開保育参加者

年齢別（3・4・5歳）は当日の保育から、未満児（0～2歳）は当日の2歳児の保育と総幼研の「未満児研究」の知見を手がかりに、子どもの育ちと保育者のかかわりを考えます。

フォーラム参加者

若手の意欲を育てる園内指導・育成と、フィードバックのあり方を考えます。

3- まとめのセッション

グループワークでの気づきや問いを共有し、保育と園づくりに持ち帰る視点を確かめます。

登壇

- **秋田 光彦** 先生（総幼研会長、パドマ幼稚園学園長）
- **須賀 みな子** 先生（平安女学院大学子ども教育学部准教授）
- **中島 美和子** 先生（パドマ幼稚園総主任）
- **岡田 尚子** 先生（パドマ幼稚園教務主任）